

本稿は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2011年8月2日に発表した2011年度中間経営報告書の日本語抄訳です。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と英文リリースとの間で齟齬がある場合には英文リリースが優先します。なお、英文リリースは、<http://group.barclays.com/Investor-Relations/Financial-results-and-publications/Results-announcements> よりご覧いただけます。

Barclays PLC Interim Results Announcement

30 June 2011

バークレイズ・ピーエルシー
2011年度中間経営報告書
2011年6月30日(8月2日発表)

業績ハイライト

当グループの業績(非監査)	2011年06月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	2010年06月30日 に終了した半期 (百万ポンド)	増減率(%)	
保険金控除後の収益合計(当グループ自身の信用度を除く)	15,241	15,730	(3)	
当グループ自身の信用度に関連する利益	89	851	nm	
保険金控除後の収益合計	15,330	16,581	(8)	
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	(1,828)	(3,080)	(41)	
営業収益純額	13,502	13,501	0	
営業費用(支払保障保険に関する補償引当金を除く)	(9,829)	(9,720)	1	
支払保障保険に関する補償引当金 ¹	(1,000)	-	nm	
税引前利益	2,644	3,947	(33)	
当グループ自身の信用度に関連する利益	(89)	(851)	nm	
支払保障保険に関する補償引当金 ¹	1,000	-	nm	
買収及び売却に係る損失/(利益) ²	123	(133)	nm	
調整後税引前利益	3,678	2,963	24	
税引後利益	1,983	2,921	(32)	
親会社の株主に帰属する利益	1,498	2,431	(38)	
基本的1株当たり利益	12.5 ペンス	20.9 ペンス	(40)	
1株当たり配当金	2.0 ペンス	2.0 ペンス	0	
資本及び貸借対照表	(2011年6月30日現在)	(2010年12月31日現在)	増減率(%)	
コア Tier1 比率	11.0%	10.8%	nm	
リスク調整後資産	3,950 億ポンド	3,980 億ポンド	(1)	
調整後グロス・レバレッジ	20x	20x	nm	
グループ余剰流動性	1,450 億ポンド	1,540 億ポンド	(6)	
1株当たり純資産価額	423 ペンス	417 ペンス	1	
1株当たり正味有形資産価額	353 ペンス	346 ペンス	2	
グループ貸付金・預り金比率	118%	124%	nm	
パフォーマンス指標	調整後³	法定		
	(2011年 6月30日現在)	(2010年 6月30日現在)	(2011年 6月30日現在)	(2010年 6月30日現在)
平均株主資本利益率	9.1%	6.9%	5.9%	9.8%
平均有形株主資本利益率	10.9%	8.4%	7.1%	12.0%
平均リスク調整後資産利益率	1.4%	1.1%	1.0%	1.5%
収益に対する費用の比率	64%	62%	71%	59%
営業収益純額に対する費用の比率	73%	77%	80%	72%
事業部門別税引前利益	調整後³	法定		
リテール・アンド・ビジネス・バンキング	1,446	1,086	446	1,219
コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング	2,327	2,172	2,352	3,023
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	139	126	81	126
本社機能及びその他事業	(234)	(421)	(235)	(421)
税引前利益	3,678	2,963	2,644	3,947
地域別収益⁴	(2011年 6月30日現在)	(2010年 6月30日現在)		
	百万ポンド	%	百万ポンド	%
英国	6,279	41	6,491	39
欧州	2,226	15	2,818	17
米州	3,687	24	4,104	25
アフリカ及び中東	2,501	16	2,392	14
アジア	637	4	776	5

注記

- 支払保障保険に対する訴訟の和解引当金は、司法審査手続の結論を受けたものです。詳細については、原文の注記17をご参照下さい。
- 2011年には、当グループのブラックロック社に対する戦略投資の一部についての売却損5,800万ポンド(投資収益を通じて損益計上)及びパークレイズ・バンクロシアの売却に関連する引当金6,400万ポンドが含まれています。
- 調整後パフォーマンスの数値は、上の表で開示されている税引前利益に対する調整項目が反映されています。
- 保険金控除後の収益合計はカウンターパーティの地域に基づいています。

業績ハイライト

「上半期におけるバークレイズ・グループ全体の進捗は満足いくものでした。当グループは 2013 年までに株主資本利益率(ROE) 13%達成という目標に向けて順調なパフォーマンスを示し、資本力、株主資本利益率、収益成長及び企業市民活動という執行上の優先事項に関し、具体的な進展を遂げました。

収益発生に影響を及ぼす主要市場の多くで経済環境の低迷に見舞われたにも関わらず、当グループの税引前基礎的利益は前年同期比 24%増の 36 億 7,800 万ポンド¹となり、平均株主資本利益率は 9.1%に改善しました。当グループは、営業費用を堅実に抑制しながら、当グループは引き続き、様々な事業において成長に向けた選択的投資を行いました。

当グループの資本、流動性及び資金調達ポジションは磐石です。当グループは、向こう数ヶ月のうちに新たな銀行規制措置が最終決定されることを心待ちにしています。当該決定がなされれば、資本と流動性を向上させる必要性和、株主の皆様への増配への要望、そして経済成長下支えへの寄与という当グループへの要求をそれぞれ調和させることができます。当該決定を待つ間にも、当グループでは「プロジェクト・マーリン」におけるコミットメントを達成し、上半期中に英国企業向けに 200 億ポンドの新規貸出を実行しました。通期で少なくとも 400 億ポンドの新規貸出を実行するという計画が、順調に進んでいます。

グループ最高責任者、ボブ・ダイヤモンド

- バークレイズ・グループの調整後税引前利益は前年同期比 24%増の 36 億 7,800 万ポンド(2010 年:29 億 6,300 万ポンド)。税引前利益は前年同期比 33%減の 26 億 4,400 万ポンド(2010 年:39 億 4,700 万ポンド)。支払保障保険(PPI)に関する補償引当金 10 億ポンド、買収及び売却に係る損失、当グループ自身の信用度に関連する利益の減少を反映
- 減損費用は 41%減の 18 億 2,800 万ポンド(2010 年:30 億 8,000 万ポンド)、上半期の年率換算貸倒率は 74 ベーシス・ポイント(2010 年:118 ベーシス・ポイント)
- 当グループ自身の信用度に関連する損益を除く営業収益純額は 6%増の 134 億 1,300 万ポンド(2010 年:126 億 5,000 万ポンド)
- PPI 補償引当金を除く営業費用は 1%増の 98 億 2,900 万ポンド(2010 年:97 億 2,000 万ポンド)
- 調整後平均株主資本利益率は 9.1%に上昇(2010 年:6.9%)。調整後平均有形株主資本利益率も 10.9%に上昇(2010 年:8.4%)
- コア Tier1 比率は 11.0%に改善(2010 年 12 月 31 日:10.8%)、調整後グロス・レバレッジは 20 倍(2010 年 12 月 31 日:20 倍)、グループ余剰流動性は 1,450 億ポンドと高水準(2010 年 12 月 31 日:1,540 億ポンド)
- 英国企業向け新規貸付総額は、中小企業向けの 70 億ポンドを含め 200 億ポンドに増加し、「プロジェクト・マーリン」の目標を上回る
- 第 2 四半期配当金は 1 株当たり 1.0 ペンスで、上半期合計では 1 株当たり 2.0 ペンス

¹ 基礎的なあるいは調整後の数値は PPI に関する補償引当金、当グループ自身の信用度の変動、買収及び売却に係る損益の財務面への影響を除いたものである。当グループでは、事業パフォーマンスのトレンドを示すため、1回限りのものと考えられるこれらの項目を除外している。事業再編費用は調整していない。

グループ最高責任者によるレビュー

2011 年上半期の業績

パークレイズの 2011 年上半期の業績は堅調でした。当グループのユニバーサル・バンキング・モデル(総合金融モデル)は業務分野、商品、地域、及び資金調達源の多様化をもたらし、不安定な金融市場環境下で引き続き力強い業績の原動力となっています。当グループの調整後税引前利益は前年同期に比べ 24%増加し 36 億 7,800 万ポンドとなりました(2010 年:29 億 6,300 万ポンド)。当グループ自身の信用度に関する損益を除いた営業収益純額は 6%増の 134 億 1,300 万ポンド(2010 年:126 億 5,000 万ポンド)となりました。当グループ自身の信用度に関する損益を除いた収益合計は 3%減の 152 億 4,100 万ポンドでしたが、減損費用の継続的改善がこれを十分にカバーしました。

当グループは先日開催したインベスター・セミナーで 2013 年までに 13%の株主資本利益率を達成する計画を発表しました。本日の上半期経営報告は、経済及び規制上の環境が不透明な中で、当グループが資本、リターン、収益成長、及び企業市民活動という執行上の中核的優先課題に重点的に取り組み、目標に向かって着実に前進を遂げていることを示すものです。

資本

当グループの資本基盤と純資産価値は引き続き向上しています。6 月末現在の当グループのコア Tier1 比率は 11.0%で、2010 年末時点の 10.8%から上昇しました。1 株当たり純資産価値も 423 ペンスと 2010 年末から 6 ペンス増加し、2011 年第 2 四半期を通じて 9 ペンス増加しました。

当グループのコア Tier1 比率は 2008 年末時点の 5.6%に比べ 2 倍に上昇しました。こうした上昇の大部分は主にこの間のパークレイズの収益性の安定に起因します。当グループは今後数年間の規制変更への対応に必要な追加的資本の内部創出に引き続き取り組んでいきます。

当グループは堅固な流動性を維持しています。余剰流動性は 1,450 億ポンドで、資金調達ストレスに対応可能な水準です。バーゼルⅢの流動性カバレッジ比率は 2010 年末の 80%から 86%に、バーゼルⅢの安定調達比率は 2010 年末の 94%から 96%にそれぞれ上昇しました。当グループは 2011 年に償還期限を迎えるホールセール・ターム・ファンディングを償還するために必要な資金をすべて期限前に調達しました。調整後グロス・レバレッジは 20 倍を維持しています。

当グループは 7 月に欧州銀行監督機構(EBA)のストレステストに合格しました。当グループの EBA の定義に基づくコア Tier1 比率は 7.3%と、EBA が設定する最低水準の 5%を大幅に上回りました。これはストレス時に資本力の追加的な基盤となるブラックロック社株式の保有の効果を加味せずに達成した比率です。当グループのポジションが適切に評価され、その多くに担保が付されていることへの市場の理解が深まるよう、本中間経営報告書ではユーロ圏へのエクスポージャーに関する情報を記載しています。ユーロ圏へのエクスポージャーの大半はスペイン、イタリア、ポルトガルにおけるリテール事業及びコーポレート・バンキング事業に関連したものです。

当グループの堅固な財務体質は、経済見通しが不透明な中でもビジネス基盤が盤石であることを示しています。

リターン

当グループは 2013 年までに 13%の株主資本利益率を達成する目標を掲げています。当グループは先日のインベスター・セミナーでこの目標を再確認し、目標達成に向けた事業ごとの取り組みを詳細に説明しました。2011 年上半期の進展を振り返ると、調整後平均株主資本利益率は 9.1%(2010 年:6.9%)に、調整後平均有形株主資本利益率は 10.9%(2010 年:8.4%)にそれぞれ上昇しました。

リテール・アンド・ビジネス・バンキング 当グループは、2013 年までに 13%から 15%の株主資本利益率を達成するため、顧客に満足を提供すること、また収益の伸び率が費用の伸び率を上回ること、換言すれば費用の伸びを上回る収益成長の実現に重点を置いています。当グループは支払保障保険(PPI)の申し立ての解決に向けて 10 億ポンドの引当金を計上し、透明かつ効率的な方法による迅速な問題解決を目指しています。英国のリテール・アンド・ビジネス・バンキング事業では、2013 年までにプロセスごとにクレームを 20%から 50%減らすべく、すべての顧客対応プロセスの簡略化に取り組んでいます。パークレイズの顧客満足度はこうした取り組みの現れです。英国では資産運用事業で適切なリターンへの道筋が構築できなかったため、支店ベースの同事業を終了しました。スペインでは、マネジメントチームを大幅に強化し、支店網とコスト基盤を再編することについて労働組合及びスペイン政府と合意に達しました。これにより支店網は 20%、従業員数は 16%削減されます。欧州のリテール・アンド・ビジネス・バンキング事業は事業再編前の 6 月に採算がとれる状況になりました。欧州事業は目標リターンの達成に時間を要するものの、軌道回復を目指して困難な決断を下しました。パークレイカード事業は英国でエッグの個人向けクレジット・カード資産及び MBNA の中小企業向けカード・ポートフォリオを取得しました。アフリカのリテール・アンド・ビジネス・バンキング事業はアブサとアフリカ大陸のパークレイズの業務の管理を統合し、今後数年間に予想されるアフリカの経済成長機会において優位なポジションを構築することを目指しています。

グループ最高責任者によるレビュー

コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング・フル・サービスの提供と真のグローバル・インベストメント・バンクへの転換を目指したパークレイズ・キャピタルの取り組みはほぼ完了し、2011 年上半期には営業費用を削減することができました。パークレイズ・キャピタルは 2013 年にバーゼルⅢベースで 15%の平均株主資本利益率の達成を目指しています。こうした進展は顧客と評論家に評価され、パークレイズ・キャピタルは今年初めてユーロマネー誌の「グローバル・インベストメント・バンク・オブ・ジ・イヤー」を受賞しました。インベストメント・バンキング・サービスを取り巻くビジネス環境は厳しいですが、パークレイズ・キャピタルは世界のトップ 3 プレーヤーとして各主要事業分野で競争を制すべく順調に前進し、規制変更に対応できる体制を整えています。上半期に不良資産を 60 億ポンド削減し、これらの大半の資産を評価額以上で売却したことが成長を後押ししています。パークレイズ・コーポレートは 2013 年までに全体及び英国の平均株主資本利益率をそれぞれ 11%、14%に引き上げることを目指しており、海外事業は好転しています。パークレイズ・バンク・ロシアの売却は上半期に大きな進展を見せ、近く手が完了すると見込まれます。スペインでは経済の低迷に対応するために 2010 年にとった早期の抜本的な決定が奏功し、減損費用が減少しました。当グループは足元の経済の低迷を踏まえ、引き続きスペインとポルトガルのリスク管理に注力していきます。英国事業は景況感が低迷する中、底堅く推移しました。パークレイズ・コーポレートは 2011 年通期で損益分岐点に到達すべく順調に進展しており、その後は大幅な業績改善が予想されます。

ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント—当グループは先日開催したインベスター・セミナーでパークレイズ・ウェルスの今後の計画について詳細に説明しました。2011 年上半期は銀行業の従業員及びテクノロジーのプラットフォームを構築するガンマ計画への投資を継続しました。パークレイズ・ウェルスは引き続き顧客資産の拡大に取り組んでおり、2013 年までに 17%から 18%の株主資本利益率を達成する目標に向かって順調に前進しています。ブラックロック社への投資に関しても引き続き満足する結果を得られています。

収益成長

パークレイズの収益成長力を決定付ける要因は営業基盤の強さです。パークレイズのポートフォリオでワールドクラスのビジネスを展開し、各業界で上位の地位を確立しているのは英国のリテール・アンド・ビジネス・バンキング、パークレイカード、パークレイズ・キャピタルの 3 事業です。各事業はスケールメリットや最新テクノロジーを備え、顧客と強い関係を構築しています。これらの事業は厳しい経済環境下でも良好なリターンを創出し、営業基盤のバリューの高さを浮き彫りにしています。

このほか、パークレイズ・ウェルスとパークレイズ・アフリカの 2 事業もトップ・ティアに向かって存在感を強めており、今後、大きなビジネス機会が期待されています。アフリカではアブサとパークレイズ・アフリカとの業務管理の統合が進展し、人員、テクノロジー、商品知識でのシナジー効果が見込まれます。アフリカ全体の事業は 2011 年上半期に 8%の収益成長を実現しました。パークレイズ・ウェルスは業績と顧客サービスで主導的な地位を確立し、規模の拡大を目指して引き続き投資を行っています。上半期の収益成長率は 2010 年の 18%に続いて 12%となりました。これらの事業は今後 2~3 年間で世界のトップ・ティアのポジションを確立すると予想されます。

英国以外のパークレイズ・コーポレート、及び欧州のリテール・アンド・ビジネス・バンキング事業はまだ取り組むべき課題がありますが、いずれの場合でも、これらの事業は強力な顧客基盤と良好なビジネス基盤を有しています。当グループは上述のとおり、業績向上に向けて抜本的な行動をとり、その取り組みは実を結びつつありますが、さらなる努力が必要なことも認識しています。

企業市民としての実績の項に移る前に、今後の収益及び減損の動向に影響を与える経済及び規制環境への見解を示したいと思えます。

マクロ経済環境

一部のユーロ圏諸国及び米国のソブリン債の見通しに関する市場の不透明感を緩和するためには断固としたリーダーシップが不可欠と考えます。当グループはかねてより英国及びその他の国々の公的部門の債務削減の取り組みを支援する意向を示してきました。また、民間部門は成長を支援する責任を負担すべきだと考えています。

経済成長の触媒としての役割を十分に果たすために、銀行は業務における明確な規制上の枠組みを必要としています。

また、先進国のソブリン債危機の解消及び銀行規制改革案の早期の決定は、投資と成長に対する企業の信頼感の回復につながると考えています。例えば、当グループの英国の中小企業顧客の当座勘定残高は年初来 41%増加しましたが、この背景には投資よりもキャッシュ保有を維持する顧客の姿勢があります。

当グループは公的部門の債務削減の取り組み及び銀行に対する規制上の枠組みの強化を支援しています。当グループは足元の不透明な環境下においても引き続き顧客、政府、規制当局とともに経済成長、雇用創出及びより安全な金融システムの構築に取り組んでいきます。企業の強固な財務体質と高水準の保有キャッシュは、ひとたび不透明感が払拭されれば景気と雇用が改善し、景況感が回復することを示唆しています。たとえ政府が歳出を削減しても、先進国経済は成長を実現できると考えています。

グループ最高責任者によるレビュー

規制

当グループが各ビジネスにおいて長期的な投資やリスクに関わる決断を下すには、規制環境の不確実性の解消が不可欠です。今年度下半期に、英国独立銀行委員会(ICB)は、英国リテール・バンキング業務の制限に関する暫定的な勧告を盛り込んだ中間報告書を発表いたしました。当グループは、金融システムの安全性向上を促すために綿密かつ合理的な改革案の策定を目指すICB、監督当局、英国政府の取り組みに積極的かつ建設的に関与し続けております。これは、銀行救済に納税者を頼るような事態の再発を防ぎ、同時に英国金融業界が不要なコストを強いられ、海外の競合する銀行に対して不利に立たされることがないようにするためです。

上半期末以降、金融安定理事会(FSB)が世界の金融システム上重要な金融機関(GSIFs)を対象とするガイドラインと救済の仕組みに関する勧告を発表し、また、EUはEU法をバーゼルⅢの枠組みに対応させるための規制と指令の草案を公表しました。当グループは、11月に予定されるG20会議を前に政策案作りを進める国際監督機関の取り組みに前向きに関与し続けております。

また、米国で進められているドッド=フランク法に基づくルール策定にも当グループは関与しており、今年度下半期に更なる進展があるものとみられます。

規制が最終的に決定し、規制面の不透明感が解消すれば、利益を資本の上積みあるいは配当を通じた株主への分配にどの程度充当し、ビジネスや経済全体の成長促進のための投資の継続にどの程度回すことが可能になるのかが判断し易くなります。このような中、配当については、対応可能な範囲内で徐々に増やしていくことの重要性は十分認識しておりますが、当面は慎重な配当政策を続ける必要があると考えております。

企業市民として

私はパークレイズの最高責任者として、企業市民としてのあり方の重要性とそのことが当グループの判断やすべてのステークホルダーの利益に合うグループの意思決定や組織運営の方法の中心にあると考える理由を折にふれて説明してきました。

今年度上半期、当グループは英国でほぼ52,000にのぼる事業立ち上げを支援いたしました。プロジェクト・マーリンの目標に沿って、ビジネスを支援する当グループの姿勢は変わっておりません。当グループは今年度上半期に英国企業に200億ポンドを新たに融資し、英国経済への与信に関する英国政府との合意を守りました。今後もこの合意は堅持していく所存です。

また、英国のPPI補償問題に関しまして、当グループはお客様の利益に配慮した確固たる措置を講じ、この問題を決着させました。今後も当グループはすべてのビジネスにおいて何よりもお客様を優先していく考えです。

パークレイズの従業員数は英国で55,000人以上、世界全体では145,000人を超えます。今年度上半期には有給のインターシップと業界での採用を通じて世界各地で1,300人の若者に就業経験を提供する取り組みを初めて行いました。

上半期に45,000人以上のパークレイズ社員がコミュニティ・インベストメント・プログラムに参加いたしました。これは前年同期に比べると3分の1以上の増加で、15万時間以上のボランティア活動と900万ポンドの募金という成果を生みました。

結論

グループは2013年の目標リターン及び経営面の優先事項を達成すべく鋭意努力しております。今年度上半期は厳しい事業環境の中で目標達成に向けて前進することができ、この勢いを維持しようと引き続き全力をあげております。目標達成に向けて努力を惜しむことのない世界各地の社員に敬意を表すとともに感謝いたします。

グループ最高責任者、ボブ・ダイヤモンド

グループ財務担当取締役のレビュー

グループの業績

2011年上半期のパークレイズの調整後税引前利益は当グループの信用度に関連する損益、買収及び売却に係る損失、支払保障保険(PPI)に関する補償引当金を除き、36億7,800万ポンドと前年同期比で24%増加しました。これらの項目を含めた税引前利益は26億4,400万ポンドでした(2010年:39億4,700万ポンド)。

当グループでは様々な項目が一回限りであると考えており、当グループ業績のトレンドを示すため、法定ベースと調整後ベースで業績を公表いたしました。

当グループの信用度に関連する損益を除いた収益は152億4,100万ポンドと3%減少しました(2010年:157億3,000万ポンド)。リテール・アンド・ビジネス・バンキング事業(RBB)の収益は、RBBが事業展開する主要市場の経済停滞をよそに66億9,700万ポンドと3%増加しました。パークレイズ・キャピタルの当グループの信用度に関連する損益を除いた収益合計は62億6,300万ポンドと11%減少しました(2010年:70億6,100万ポンド)。この減少は、債券及びコモディティ事業による寄与が減少したためですが、為替、株式及びプライム・サービス、インベストメント・バンキングの業績改善によって一部相殺されました。

貸付金、売却可能資産、リバース・レポ取引に係る当グループ全体の減損費用は18億2,800万ポンドと41%減少しました(2010年:30億8,000万ポンド)。2011年6月30日現在、グループの貸付金に対する減損費用の比率は2010年末の118ベース・ポイントから74ベース・ポイントに改善しました。

営業収益純額は135億200万ポンドと横ばいでした(2010年:135億100万ポンド)。これはRBB(14%増の53億9,000万ポンド)、パークレイズ・コーポレート(90%増の8億5,700万ポンド)及びパークレイズ・ウェルス(14%増の8億2,900万ポンド)は特に大幅な増加となりましたが、パークレイズ・キャピタル(15%減の64億6,300万ポンド)における減少によって減殺された結果です。

営業費用(10億ポンドのPPIに関する補償引当金を除く)は、事業再編費用が2億1,600万ポンド(2010年:9,300万ポンド)に増加したのを受け、1%増の98億2,900万ポンドとなりました(2010年:97億2,000万ポンド)。パークレイズ・キャピタルの営業費用は40億7,300万ポンドと3%減少しました。RBBの営業費用(PPIに関する補償引当金を除く)は事業再編、のれんの減損、2010年に計上された年金に関する収益が継続的に発生しなかったことを主因に9%増の39億7,300万ポンドとなりました。パークレイズ・コーポレートの営業費用は8億3,900万ポンドと概ね横ばいでしたが、パークレイズ・ウェルスでは「ガンマ計画」を含む投資の影響で7億4,000万ポンドと17%増加しました。

この結果、グループの収益純額に対する調整後費用の比率は73%に低下しました(2010年:77%)。パークレイズ・キャピタルの営業収益純額(当グループの信用度に関連する損益を除く)に対する費用の比率は64%(2010年:62%)で、計画の60%から65%の計画範囲内に抑えることができました。また、収益(当グループの信用度に関連する損益を除く)に対する人件費の比率は45%となりました(2010年:42%)。

調整後平均株主資本利益率は9.1%に上昇し(2010年:6.9%)、調整後平均有形株主資本利益率は10.9%に上昇しました(2010年:8.4%)。法定の平均株主資本利益率は5.9%であり(2010年:9.8%)、法定の平均有形株主資本利益率は7.1%でした(2010年:12.0%)。

事業部門別業績ーリテール・アンド・ビジネス・バンキング

RBBの調整後税引前利益は14億4,600万ポンドと33%増加し(2010年:10億8,600万ポンド)、2010年下半期の11億4,900万ポンドと比べて26%の増加となりました。法定税引前利益は4億4,600万ポンドと63%減少しました(2010年:12億1,900万ポンド)。

RBB部門の事業別業績の要約は以下の通りです:

リテール・アンド・ビジネス・バンキング	2011年6月30日	2010年6月30日	増減率(%)
	に終了した上半期	に終了した上半期	
	百万ポンド	百万ポンド	
英国 RBB ¹	704	404	74
欧州 RBB	(161)	(19)	nm
アフリカ RBB	379	384	(1)
パークレイカード ²	524	317	65
調整後税引前利益	1,446	1,086	33
PPIに関する補償引当金	(1,000)	-	nm
買収及び売却に係る利益	-	133	nm
税引前利益	446	1,219	(63)

英国、アフリカ、英国パークレイカードは堅調に拡大しましたが、米国パークレイカードで顧客の返済が続いたほか、欧州の収益がほぼ横ばいとどまり、収益は3%増の66億9,700万ポンドとなりました(2010年:65億1,300万ポンド)。RBB全体の純金利収益マージンは概ね安定しておりました。

¹ 英国RBBの法定税引前利益は4億ポンドのPPIに関する補償引当金を含め、3億400万ポンドに減少(2010年:5億400万ポンド)。

² パークレイカードの法定税引前利益は6億ポンドのPPIに関する補償引当金を含め、7,600万ポンドの損失に悪化(2010年:3億1,700万ポンドの利益)。

グループ財務担当取締役のレビュー

クレジット・リスクの集中管理と米国におけるカード残高返済を主因に英国及びパークレイカードにおいて減損が極めて大幅に減少しました。また欧州及びアフリカにおいても減損が大きく減少した結果、減損は全体では前年比 27%減の 13 億 700 万ポンドとなりました(2010年:18 億ポンド)。これによりリスク調整後純金利収益マージンは極めて大幅に改善しました。

RBB における営業費用は、支払保障保険(PPI)に関する補償引当金 10 億ポンドを主因に 36%増加しました。この引当金、欧州における事業再編費用 1 億 2,900 万ポンド、そしてパークレイカードにおけるのれんの減損 4,700 万ポンド及び 2010 年度に計上された 1 回限りの年金に関する収益 2 億ポンドを除くと、営業費用は微減となり、収益の伸び率が費用の伸び率を上回りました。

RBB はグループ全体の株主資本利益率 13%というコミットメントの達成に向けて着実な進展を見せ、英国及びパークレイカードの調整後株主資本利益率(PPI 引当金の影響を除く)はいずれも、既に 13%を超えました。アフリカ及び欧州の株主資本利益率はそれぞれ 2013 年及び 2015 年における 13%達成に向け、順調に進んでいます。RBB 全体の調整後平均株主資本利益率は 10%となりました(2010年:9%)。

事業部門別業績 – コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング

コーポレート・アンド・インベストメント・バンキングの調整後税引前利益は前年同期比 7%増の 23 億 2,700 万ポンド(2010年:21 億 7,200 万ポンド)となり、2010 年下半期(15 億 8,600 万ポンド)に比べ 47%増加しました。法定税引前利益は 22%減の 23 億 5,200 万ポンド(2010年:30 億 2,300 万ポンド)となりました。

コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング	2011 年 6 月 30 日	2010 年 6 月 30 日	増減率(%)
	に終了した半期 百万ポンド	に終了した半期 百万ポンド	
パークレイズ・キャピタル	2,310	2,549	(9)
パークレイズ・コーポレート	17	(377)	nm
調整後税引前利益	2,327	2,172	7
パークレイズ・キャピタル自身の信用度に関連する利益	89	851	(90)
買収及び売却に係る損失	(64)	-	nm
税引前利益	2,352	3,023	(22)

パークレイズ・キャピタルの調整後税引前利益は前年同期比 9%減の 23 億 1,000 万ポンドとなりました(2010年:25 億 4,900 万ポンド)。パークレイズ・キャピタル自身の信用度に関連する利益 8,900 万ポンド(2010年:8 億 5,100 万ポンドの利益)を含め、税引前利益は 23 億 9,900 万ポンドでした(2010年:34 億ポンド)。自社自身の信用度に関連する損益を除く収益合計は前年同期比 11%減の 62 億 6,300 万ポンドとなりました(2010年:70 億 6,100 万ポンド)。債券及びコモディティ事業からの寄与が低下したことを反映して、また為替事業のパフォーマンス改善がこれを部分的に相殺したため、債券、為替及びコモディティ(FICC)部門の収益は前年同期比 20%減の 39 億 1,600 万ポンドとなりました。株式及びプライム・サービス部門の収益はデリバティブとエクイティ・ファイナンスの収益が増加したため前年同期比 5%増の 11 億 800 万ポンドとなりました。インベストメント・バンキング部門の収益は株式引受が寄与し、前年同期比 11%増の 11 億 3,200 万ポンドでした。

減損の戻入れについては、連結前のプロティアム社関連の減損戻入れ 2 億 2,300 万ポンドを含んでおり、これを主にレバレッジ・ファイナンス関連の減損費用が一部相殺した結果、純額で 1 億 1,100 万ポンドとなりました(2010年:3 億 900 万ポンドの減損)。営業費用は 3%減少しました。パークレイズ・キャピタル自身の信用度に関連する損益の影響を除く営業収益純額に対する費用の比率は 64%、収益に対する人件費の比率は 45%でした。調整後平均株主資本利益率は 15%でした(2010年:14%)。

2011 年第 2 四半期におけるパークレイズ・キャピタル自身の信用度に関連する損益を除く収益合計は、事業活動水準の低下を反映し、前四半期比 14%減の 28 億 9,700 万ポンドとなりました。FICC 部門収益は 22%減、インベストメント・バンキング部門収益は株式及び債券引受業務が活況だった第 1 四半期の裏返しで 15%減となりました。株式及びプライム・サービス部門収益は 3%増加しました。

パークレイズ・コーポレートの調整後税引前利益は予想されるパークレイズ・バンク・ロシアの売却損に対する引当金 6,400 万ポンドを除き 1,700 万ポンドとなりました(2010年:3 億 7,700 万ポンドの損失)。この引当金を含めると 4,700 万ポンドの税引前損失でした。英国では利益が増加し、欧州及びその他の地域ではいずれも損失が大幅に減少しました。利息収入純額の改善とベンチャー・キャピタル投資の評価減の減少を反映して、収益は 5%増加しました。減損費用は 35%改善し 6 億 1,400 万ポンドとなりました(2010年:9 億 4,900 万ポンド)。これはスペインにおける減損費用が 2 億 9,900 万ポンド(2010年:5 億 5,300 万ポンド)に改善したことが主因です。減損費用は英国及びその他地域でも改善しました。営業費用は前年同期比 1%増の 8 億 3,900 万ポンドとなりました(2010年:8 億 2,900 万ポンド)。調整後平均株主資本利益率は 0%となり、2010 年上半期におけるマイナス 11%から改善しました。

グループ財務担当取締役のレビュー

事業部門別業績 – ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント

ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの調整後税引前利益は、ブラックロック株式の売却損を除き、前年同期比 10% 増の 1 億 3,900 万ポンドとなり(2010 年:1 億 2,600 万ポンド)、2010 年下半期(1 億 400 万ポンド)と比べると 34%増加しました。法定税引前利益は 36%減の 8,100 万ポンドでした(2010 年:1 億 2,600 万ポンド)。

ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	2011 年 6 月 30 日	2010 年 6 月 30 日	増減率 (%)
	に終了した半期 百万ポンド	に終了した 6 ヶ月半期 百万ポンド	
パークレイズ・ウェルス	88	95	(7)
インベストメント・マネジメント	51	31	65
調整後税引前利益	139	126	10
買収及び売却に係る損失	(58)	-	nm
税引前利益	81	126	(36)

パークレイズ・ウェルスの税引前利益は、収益の力強い伸びを事業の成長に対応した投資の増加が相殺したことを反映して、前年比 7%減の 8,800 万ポンドとなりました(2010 年:9,500 万ポンド)。収益は利息収入純額と手数料収入の両方の堅調な増加を反映して、12%増の 8 億 4,800 万ポンドとなりました(2010 年:7 億 5,700 万ポンド)。営業費用は 17%増加しました。これは「プロジェクト・ガンマ」における支出 4,400 万ポンド(2010 年:3,300 万ポンド)を含む、ウェルス投資計画における投資及び関連する事業再編費用を反映しています。顧客預かり資産は前年同期比 3%増の 1,695 億ポンドとなりました(2010 年 12 月 31 日現在:1,639 億ポンド)。平均株主資本利益率は 10%でした(2010 年:10%)。

インベストメント・マネジメントの調整後税引前利益は 5,100 万ポンドでした(2010 年:3,100 万ポンド)。但し、これには当グループの戦略的保有比率を 20%未満に維持するためのブラックロック社株式売却に係る損失 5,800 万ポンド(2010 年:ゼロポンド)は含まれません。なお、上記利益には主にブラックロック社における当グループの保有(現在の売却可能な保有比率は 19.7%)に伴い発生した配当収益が反映されています。当期税引前損失は 700 万ポンドでした(2010 年:3,100 万ポンドの利益)。

2011 年 6 月 30 日現在の保有価額は取得時の価額を 8 億ポンド下回りました(2010 年 12 月 31 日現在:9 億ポンド)。この下落分は売却可能評価差額金及び当グループのコア Tier 1 比率に反映されています。重要な軽減要素の影響を受ける場合、取得時の価額と比較して持続的な下落を 2011 年通期の損益計算書に計上すべきかどうか、下半期に追加的な評価を実施し検討してまいります。

事業部門別業績 - 本社機能及びその他事業

本社機能及びその他事業の税引前損失は 2 億 3,500 万ポンドでした(2010 年:4 億 2,100 万ポンドの損失)。営業費用は前年同期比 1 億 9,200 万ポンド減の 1 億 9,800 万ポンドとなりました(2010 年:3 億 9,000 万ポンド)。これは前年には米国経済制裁に関連して 1 億 9,400 万ポンドの 1 回限りの引当金が発生していたためです。収益は 3,700 万ポンドの損失と、前年同期と比較してほぼ横ばいでした(2010 年:3,600 万ポンドの損失)。

一般に公正妥当と認められている会計原則(GAAP)に従い、2011 年 7 月に関連法律が成立した英国銀行税による影響は 2011 年上半期の業績には反映されておりません。2011 年通期の費用合計は 3 億 5,000 万ポンドから 4 億ポンド程度となる見通しです。

貸借対照表及び資本管理

株主資本

2011 年 6 月 30 日現在の株主資本(非支配持分を含む)は 620 億ポンドとなりました(2010 年 12 月 31 日現在:623 億ポンド)。非支配持分を除く株主資本は 516 億ポンドでした(2010 年:509 億ポンド)。税引後利益 20 億ポンド並びに売却可能資産評価益は、為替差損、配当金の支払い及び及び資本留保性証券(RCI)償還によりほぼ相殺されました。1 株当たり純資産価額は 423 ペンスに増加しました(2010 年 12 月 31 日現在:417 ペンス)。1 株当たり正味有形資産価額は 353 ペンスに増加しました(2010 年 12 月 31 日現在:346 ペンス)。

貸借対照表

資産合計は、通常取引の変動を反映してほぼ横ばいの 1 兆 4,930 億ポンドでした(2010 年 12 月 31 日現在:1 兆 4,900 億ポンド)。これには、金利デリバティブ資産総額、リバース・レポ取引及びその他類似の担保付貸付の減少、中央銀行預け金の減少が含まれますが、貸付金(主として決済残高関連)、売却可能投資及びトレーディング・ポートフォリオ資産の増加により相殺されました。プロティアム社連結の結果として貸付金が減少し、原資産はトレーディング・ポートフォリオ資産及び公正価値で評価すると指定された金融資産に分類されました。調整後グロス・レバレッジに寄与する資産は 1%増の 1 兆 610 億ポンドでした(2010 年:1 兆 530 億ポンド)。

グループ財務担当取締役のレビュー

資本管理

2011年6月30日現在のバーゼルII基準によるパークレイズ・グループのコア Tier 1 資本比率は 11.0%でした(2010年12月31日現在:10.8%)。PPIに関する補償の影響を除く留保利益がコア Tier 1 資本比率の 44 ベーシス・ポイントの上昇に寄与し、PPI 引当金その他の変動の影響を吸収しました。リスク調整後資産は、主として外国為替の変動の結果、3,950 億ポンドに減少しました(2010年12月31日現在:3,980 億ポンド)。外国為替の影響を除くと、パークレイズ・キャピタルにおける不良資産売却によるリスク調整後資産の減少は Egg 買収及び上半期中に実施された規制当局による会計処理方法の変更に起因する増加により相殺されました。

2011年度末のパークレイズ・グループのコア Tier 1 資本比率はバーゼル 2.5 に基づく市場リスク調整後資産の計算導入の結果として予想されるリスク調整後資産の約 400 億ポンドの増加の影響を受けるとみています。

流動性及び資金調達

当グループの流動性及び資金調達ポジションは引き続き堅固です。

バーゼルIIIガイドラインは 2 種類の新たな流動性指標を提案しています。短期的な流動性のストレスを測定する「流動性カバレッジ比率(LCR)」と長期的な構造的資金調達の安定性を測定するための「安定調達比率(NSFR)」です。2011年6月30日現在、LCRは86%(2010年12月31日現在:80%)、NSFRは96%(2010年12月31日現在:94%)と見積もられています。

パークレイズ・グループは 2011 年上半期中に様々な地域において各種商品を通じて 190 億ポンドのホールセール・ターム物資金を調達しました。過去 18 ヶ月間に調達したターム物資金は 2010 年及び 2011 年中に満期を迎えるホールセール・ターム物債務を借り換えるとともに、戦略的なバランスシート拡大及び債務のデュレーションの一段の長期化に寄与しました。

当グループの 2011 年 6 月 30 日現在の余剰流動性は 1,450 億ポンドでわずかに減少しましたが、このうち 1,320 億ポンドは英国金融サービス機構(FSA)適格資産に投資されました。余剰流動性の減少は短期預金の減少を凶った結果であり、LCR 上昇に反映されているように、流動性の堅固さには何ら影響を及ぼしておりません。2011 年上半期の余剰流動性コストは約 3 億ポンドに減少しました。2010 年通期は約 9 億ポンドでした。パークレイズ・グループは当グループの流動性リスク・フレームワークの範囲内で、またバーゼルIIIの最終基準を予想しながら、引き続き余剰流動性を最適化してまいります。

配当

四半期ベースで配当を実施するのが当グループの方針です。2011 年第 2 四半期の配当金については 1 株当たり 1 ペンスを 2011 年 9 月 9 日付でお支払いいたします。2011 年上半期の累計配当金は 1 株当たり 2 ペンスとなります。

見通し

7 月中の資本市場事業の業績は現在の市場環境の影響を受けましたが、その他事業の業績は全体として 2011 年上半期のペースを上回っています。

銀行業に対する新たな規制要件の導入に備えて、当グループは引き続き強固な資本、レバレッジ及び流動性ポジションを維持してまいります。

グループ財務担当取締役、クリス・ルーカス

要約連結財務書類(未監査)

要約連結損益計算書(未監査)

		2011年 6月30日に 終了した半期	2010年 12月31日に 終了した半期	2010年 6月30日に 終了した半期
継続事業				
	注 ¹	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
利息収入純額	1	6,189	6,554	5,969
手数料収入純額	2	4,419	4,677	4,194
トレーディング収益純額	3	3,896	2,445	5,633
投資収益純額	4	594	948	529
保険契約に基づく保険料収入純額		569	555	582
その他の収益		60	29	89
収益合計		15,727	15,208	16,996
保険契約に基づく保険金及び給付金純額		(397)	(349)	(415)
保険金控除後の収益合計		15,330	14,859	16,581
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額		(1,828)	(2,592)	(3,080)
営業収益純額		13,502	12,267	13,501
人件費	5	(6,110)	(6,104)	(5,812)
一般管理費	5	(3,124)	(3,309)	(3,276)
有形固定資産減価償却費		(351)	(382)	(408)
無形資産償却費		(197)	(213)	(224)
のれんの償却	5	(47)	(243)	-
営業費用(PPI 補償引当金を除く)		(9,829)	(10,251)	(9,720)
PPI 補償引当金 ²	17	(1,000)	-	-
営業費用		(10,829)	(10,251)	(9,720)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分		36	25	33
子会社、関連会社及び合併企業の売却(損)/益	6	(65)	77	4
買収に係る利益	7	-	-	129
税引前利益		2,644	2,118	3,947
税金	8	(661)	(490)	(1,026)
税引後利益		1,983	1,628	2,921
以下に帰属するもの:				
親会社の株主		1,498	1,133	2,431
非支配持分	9	485	495	490
税引後利益		1,983	1,628	2,921
継続事業からの1株当たり利益				
基本的普通株式1株当たり利益	10	12.5p	9.5p	20.9p
希薄化後普通株式1株当たり利益	10	11.9p	8.8p	19.7p

¹ 注記は原文74ページから93ページ参照

² 司法審査手続の結論を受けたPPI訴訟の和解引当金

要約連結財務書類(未監査)

要約連結貸借対照表(未監査)

		2011年 6月30日に 終了した半期	2010年 12月31日に 終了した半期	2010年 6月30日に 終了した半期
	注 ¹	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
税引後利益		1,983	1,628	2,921
その他の包括利益				
継続事業				
為替換算差額	20	(790)	130	1,054
売却可能金融資産	20	315	757	(1,993)
キャッシュフロー・ヘッジ	20	(88)	(577)	533
その他		23	32	27
当期その他の包括利益		(540)	342	(379)
当期包括利益合計		1,443	1,970	2,542
以下に帰属するもの:				
親会社の株主		1,174	1,095	1,880
非支配持分		269	875	662
当期包括利益合計		1,443	1,970	2,542

¹ 注記は原文74ページから93ページ参照

要約連結財務書類(未監査)

要約連結貸借対照表(未監査)

資産	注 ¹	2011年	2010年	2010年
		6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在
		百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
現金及び中央銀行預け金		86,916	97,630	103,928
他銀行からの取立中の項目		1,317	1,384	961
トレーディング・ポートフォリオ資産		181,799	168,867	167,029
公正価値で測定すると指定された金融資産		39,122	41,485	42,764
デリバティブ	12	379,854	420,319	505,210
銀行に対する貸付金		58,751	37,799	45,924
顧客に対する貸付金		441,983	427,942	448,266
リバース・レポ取引及びその他類似の担保付貸付		196,867	205,772	197,050
売却可能金融商品		81,837	65,110	52,674
未収還付税及び繰延税金資産	8	3,007	2,713	2,187
前払金、未収収益及びその他の資産		6,156	5,269	6,185
関連会社及び合併会社に対する投資		576	518	406
のれん及び無形資産	15	8,541	8,697	8,824
有形固定資産		6,196	6,140	5,738
資産合計		1,492,922	1,489,645	1,587,146
負債				
銀行預り金		84,188	77,975	94,304
他銀行への未決済項目		1,324	1,321	1,500
顧客預り金		373,374	345,788	360,980
リバース・レポ取引及びその他類似の担保付借入		247,635	225,534	227,706
トレーディング・ポートフォリオ負債		77,208	72,693	71,752
公正価値で測定すると指定された金融負債		92,473	97,729	89,015
デリバティブ	12	366,536	405,516	486,261
発行債券		144,871	156,623	151,728
未払金、繰延収益及びその他負債		12,952	13,233	13,812
未払税金及び繰延税金負債	8	1,100	1,160	1,491
劣後負債	16	26,786	28,499	25,929
引当金	17	2,074	947	807
退職給付債務	18	412	365	788
負債合計		1,430,933	1,427,383	1,526,073
株主資本				
非支配持分を除く株主持分		51,572	50,858	49,591
非支配持分	9	10,417	11,404	11,482
株主資本合計		61,989	62,262	61,073
負債及び株主資本合計		1,492,922	1,489,645	1,587,146

1 注記は原文 74 ページから 93 ページ参照

要約連結財務書類(未監査)

要約連結株主資本変動表(未監査)

2011年6月30日に終了した半期	払込済株主資本及び株式払込剰余金 ¹	その他の剰余金 ²	利益剰余金	合計	非支配持分	株主資本合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
2011年1月1日現在の残高	12,339	1,754	36,765	50,858	11,404	62,262
税引後利益	-	-	1,498	1,498	485	1,983
その他の包括利益(税引後)						
為替換算の変動	-	(608)	-	(608)	(182)	(790)
売却可能投資	-	323	-	323	(8)	315
キャッシュフロー・ヘッジ	-	(48)	-	(48)	(40)	(88)
その他	-	-	9	9	14	23
当期包括利益合計	-	(333)	1,507	1,174	269	1,443
従業員株式制度に基づく株式発行	22	-	361	383	-	383
自己株式の購入純額	-	(553)	-	(553)	-	(553)
自己株式の権利確定	-	423	(423)	-	-	-
配当金支払額	-	-	(419)	(419)	(363)	(782)
資本準備商品の償還	-	-	-	-	(887)	(887)
その他の剰余金の変動	-	-	129	129	(6)	123
2011年6月30日現在の残高	12,361	1,291	37,920	51,572	10,417	61,989
2010年12月31日に終了した半期						
2010年7月1日現在の残高	12,064	1,474	36,053	49,591	11,482	61,073
税引後利益	-	-	1,133	1,133	495	1,628
その他の包括利益(税引き後)						
為替換算の変動	-	(193)	-	(193)	323	130
売却可能投資	-	751	-	751	6	757
キャッシュフロー・ヘッジ	-	(606)	-	(606)	29	(577)
その他	-	-	10	10	22	32
当期包括利益合計	-	(48)	1,143	1,095	875	1,970
新規普通株式発行	260	-	-	260	-	260
従業員株式制度に基づく株式発行	15	-	425	440	-	440
自己株式の購入純額	-	(57)	-	(57)	-	(57)
自己株式の権利確定	-	384	(384)	-	-	-
配当金支払額	-	-	(237)	(237)	(431)	(668)
資本準備商品の償還	-	-	-	-	(487)	(487)
その他の剰余金の変動	-	1	(235)	(234)	(35)	(269)
2010年12月31日現在の残高	12,339	1,754	36,765	50,858	11,404	62,262

1 株主資本の詳細は原文85ページ参照

2 当期のその他の剰余金の詳細は原文85ページ参照

要約連結財務書類(未監査)

要約連結株主資本変動表(未監査)

2010年6月30日に終了した半期	払込済株主資本及び株式払込剰余金 ¹	その他の剰余金 ²	利益剰余金	合計	非支配株主資本持分	株主資本合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
2010年1月1日現在の残高	10,804	2,628	33,845	47,277	11,201	58,478
税引後利益	-	-	2,431	2,431	490	2,921
その他の包括利益(税引後)						
為替換算の変動	-	935	-	935	119	1,054
売却可能投資	-	(1,996)	-	(1,996)	3	(1,993)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	506	-	506	27	533
その他	-	-	4	4	23	27
当期包括利益合計	-	(555)	2,435	1,880	662	2,542
新規普通株式発行	1,240	-	-	1,240	-	1,240
従業員株式制度に基づく株式発行	20	-	405	425	-	425
自己株式の購入純額	-	(932)	-	(932)	-	(932)
自己株式の権利確定	-	334	(334)	-	-	-
配当金支払額	-	-	(294)	(294)	(372)	(666)
その他の剰余金の変動	-	(1)	(4)	(5)	(9)	(14)
2010年6月30日現在の残高	12,064	1,474	36,053	49,591	11,482	61,073

要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

継続事業	2011年 6月30日に 終了した半期	2010年 12月31日に 終了した半期	2010年 6月30日に 終了した半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
税引前利益	2,644	2,118	3,947
非現金項目の調整	3,104	1,931	(960)
営業資産及び負債の変動	27,055	(8,988)	22,096
法人税等支払額	(890)	(730)	(728)
営業活動からのキャッシュ純額	31,913	(5,669)	24,355
投資活動からのキャッシュ純額	(15,465)	(9,448)	3,821
財務活動からのキャッシュ純額	(2,849)	1,577	(1,418)
現金及び現金同等物に係る為替レートの影響	(1,583)	1,095	2,747
現金及び現金同等物の純増加	12,016	(12,445)	29,505
現金及び現金同等物の期首残高	131,400	143,845	114,340
現金及び現金同等物の期末残高	143,416	131,400	143,845

1 株主資本の詳細は原文85ページ参照

2 当期のその他の剰余金の詳細は原文85ページに表示

当グループ業績の要約

グループの業績	2011年度	2011年度	2010年度	2010年度	2010年度	2010年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
保険金控除後の収益合計 (当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)	7,491	7,750	8,081	7,238	7,563	8,167
当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)	440	(351)	487	(947)	953	(102)
保険金控除後の収益合計	7,931	7,399	8,568	6,291	8,516	8,065
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	(907)	(921)	(1,374)	(1,218)	(1,572)	(1,508)
営業収益純額	7,024	6,478	7,194	5,073	6,944	6,557
営業費用(PPI補償引当金を除く)	(4,987)	(4,842)	(5,495)	(4,756)	(4,868)	(4,852)
PPI補償引当金 ¹	(1,000)	-	-	-	-	-
営業費用合計	(5,987)	(4,842)	(5,495)	(4,756)	(4,868)	(4,852)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	19	17	16	9	18	15
買収及び売却に係る(損失)/利益	(67)	2	76	1	33	100
税引前利益	989	1,655	1,791	327	2,127	1,820
調整後税引前利益²	1,674	2,004	1,228	1,273	1,141	1,822
基本的1株当たり利益	4.0p	8.5p	9.1p	0.4p	11.6p	9.3p
収益に対する費用の比率	75%	65%	64%	76%	57%	60%
営業収益純額に対する費用の比率	85%	75%	76%	94%	70%	74%
収益に対する調整後費用の比率 ²	66%	62%	68%	66%	64%	59%
営業収益純額に対する調整後費用の比率 ²	75%	71%	82%	79%	81%	73%
パークレイズ・キャピタルの業績						
債券、為替及びコモディティ	1,715	2,201	2,031	1,773	2,138	2,745
株式及びプライム・サービス	563	545	625	359	563	493
インベストメント・バンキング	520	612	725	501	461	556
プリンシパル・インベストメント	99	8	115	19	4	101
収益合計(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)	2,897	3,366	3,496	2,652	3,166	3,895
当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)	440	(351)	487	(947)	953	(102)
収益合計	3,337	3,015	3,983	1,705	4,119	3,793
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	80	31	(222)	(12)	(41)	(268)
営業収益純額	3,417	3,046	3,761	1,693	4,078	3,525
営業費用	(2,006)	(2,067)	(2,201)	(1,881)	(2,154)	(2,059)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	6	3	2	6	7	3
税引前利益/(損失)	1,417	982	1,562	(182)	1,931	1,469
調整後税引前利益²	977	1,333	1,075	765	978	1,571
収益に対する費用の比率	60%	69%	55%	110%	52%	54%
営業収益純額に対する費用の比率	59%	68%	59%	111%	53%	58%
収益に対する調整後費用の比率 ²	69%	61%	63%	71%	68%	53%
営業収益純額に対する調整後費用の比率 ²	67%	61%	67%	71%	69%	57%

¹ 司法審査手続の結論を受けたPPI訴訟の和解引当金

² 調整後税引前利益及び調整後パフォーマンス数値は、当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)の影響、PPI補償引当金、子会社・関連会社・合併会社の買収及び売却に係る(損失)/利益、戦略的投資の売却に係る損失を含む

事業部門別の業績

パークレイズ・キャピタル

	2011年6月30日 に終了した半期	2010年12月31日 に終了した半期	2010年6月30日 に終了した半期
損益計算書関連の情報			
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
利息収入純額	511	764	357
手数料収入純額	1,543	1,831	1,516
トレーディング収益純額 (当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)	3,720	3,277	4,709
投資収益純額	491	273	479
その他の収益／(損失)純額	(2)	3	-
収益合計(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)	6,263	6,148	7,061
当グループ自身の信用度に関連する利益／(費用)	89	(460)	851
収益合計	6,352	5,688	7,912
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	111	(234)	(309)
営業収益純額	6,463	5,454	7,603
営業費用	(4,073)	(4,082)	(4,213)
関連会社及び合併事業の税引後損益に対する持分	9	8	10
税引前利益	2,399	1,380	3,400
調整後税引前利益¹	2,310	1,840	2,549

貸借対照表関連の情報

銀行及び顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	£180.7bn	£149.7bn	£188.1bn
資産合計	£1,076.0bn	£1,094.8bn	£1,212.4bn
調整後グロス・レバレッジに寄与する資産 ²	£653.6bn	£668.1bn	£697.6bn
リスク調整後資産	£190.0bn	£191.3bn	£194.3bn
グループ余剰流動性	£145bn	£154bn	£160bn
平均 DVaR (95%)	£48m	£49m	£57m

パフォーマンス指標	調整後 ¹			法定		
	2011年 6月30日 に終了した 半期	2010年 12月31日 に終了した 半期	2010年 6月30日 に終了した 半期	2011年 6月30日に 終了した 半期	2010年 12月31日 に終了した 半期	2010年 6月30日 に終了した 半期
平均資本利益率 ³	15%	13%	14%	16%	10%	19%
平均有形資本利益率 ³	16%	14%	14%	16%	11%	20%
平均リスク調整後資産利益率	1.8%	1.5%	1.5%	1.8%	1.2%	2.2%
貸倒損失率(bps)	(6)	42	34	(6)	42	34
収益に対する費用の比率	65%	66%	60%	64%	72%	53%
営業収益純額に対する費用の比率	64%	69%	62%	63%	75%	55%
収益に対する人件費の比率	45%	44%	42%	45%	48%	37%
従業員1人当たり平均収益(千ポンド)	£255	£242	£290	£259	£224	£325

- 調整後税引前利益と調整後パフォーマンス数値は、当グループの信用度に関連する89百万ポンドの利益(2010年度下半期:4億6,000万ポンドの損失、2010年上半期:8億5,100万ポンドの利益)の影響を除く。
- 2011年6月30日及び2010年12月31日に終了した半期においては改訂後の定義を使用。これを2010年6月30日に終了した半期に適用すると6,75.3億ポンドとなる。
- 平均資本利益率及び平均有形資本利益率は、平均資本及び平均有形資本の計算に平均リスク調整後資産の10%(従来は9%)を用いるように改訂されている。

事業部門別の業績

パークレイズ・キャピタル

- 調整後税引前利益は9%減の23億1,000万ポンド(2010年:25億4,900万ポンド)
 - 当グループ自身の信用度に関連する利益8,900万ポンド(2010年:利益8億5,100万ポンド)を含めた税引前利益は23億9,900万ポンド(2010年:34億ポンド)
- 当グループ自身の信用度に関連する損益を除いた収益合計は11%減の62億6,300万ポンド(2010年:70億6,100万ポンド)

収益合計の内訳	2011年6月30日	2010年12月31日	2010年6月30日
	に終了した半期 百万ポンド	に終了した半期 百万ポンド	に終了した半期 百万ポンド
債券、為替及びコモディティ(FICC)	3,916	3,804	4,883
株式及びプライム・サービス	1,108	984	1,056
インベストメント・バンキング	1,132	1,226	1,017
プリンシパル・インベストメント	107	134	105
収益合計(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)	6,263	6,148	7,061

- 債券、為替及びコモディティ事業の収益は、特に第2四半期の厳しいトレーディング環境における債券レート及びクレジット業務、ならびにコモディティ業務からの寄与低下を反映して、20%減の39億1,600万ポンド(2010年:48億8,300万ポンド)となりました。為替業務は堅調な顧客取扱高を背景に前年同期比で12%増となりました。
 - 株式及びプライム・サービス事業の収益は5%増の11億800万ポンド(2010年:10億5,600万ポンド)。デリバティブ及びエクイティ・ファイナンス業務における顧客の資金フローの改善が寄与しました。
 - インベストメント・バンキング事業の収益は、株式及び債券の引受増加が牽引して、11%増の11億3,200万ポンド(2010年:10億1,700万ポンド)となりました。
 - プリンシパル・インベストメント事業の収益は2%増の1億700万ポンド(2010年:1億500万ポンド)で、これは主に英国における1件の大型売却によるものです。
- 2011年第2四半期の収益合計(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)は市場活動の水準低下を反映して、前四半期比14%減の28億9,700万ポンドとなりました。債券、為替及びコモディティ事業(FICC)の収益は22%減となり、インベストメント・バンキング事業の収益も、株式及び債券の引受が堅調であった第1四半期比15%減で終わりました。一方、株式及びプライム・サービス事業の収益は3%増でした。
- 利息収入純額は資金調達コストの低下により43%増の5億1,100万ポンド(2010年:3億5,700万ポンド)となりました。手数料収入はインベストメント・バンキング事業の拡大により、また当社が支払った手数料の減少に影響され、2%増の15億4,300万ポンド(2010年:15億1,600万ポンド)となりました。トレーディング収益純額(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く)は主にFICCからの寄与低下により、21%減の37億2,000万ポンド(2010年:47億900万ポンド)でした。
- 2011年上半年期の減損戻入純額の1億1,100万ポンド(2010年:3億900万ポンドの減損費用)は、連結前のプロティアム社への貸付金に関する減損引当金の戻入2億2,300万ポンドが、主にレバレッジド・ファイナンスに関する費用によって一部相殺されたことを反映しています。
- 営業費用は3%減の40億7,300万ポンド(2010年:42億1,300万ポンド)となりました。(当グループ自身の信用度に関連する損益の影響を除くと、営業収益純額に対する費用の比率は64%(2010年:62%)、収益に対する人件費の比率は45%(2010年:42%)でした。
- 資産合計は、デリバティブ資産総額の減少が決済残高の増加によって概ね相殺されたことを反映して、2%減の1兆760億ポンド(2010年12月31日:1兆950億ポンド)となりました。調整後グロス・レバレッジへの寄与資産は2%減の6,540億ポンド(2010年12月31日:6,680億ポンド)で、余剰流動性が1,450億ポンドに減少したこと(2010年12月31日:1,540億ポンド)と、通常のトレーディング活動の結果を反映しています。
- 信用市場に対するエクスポージャーは60億ポンド減の179億ポンド(プロティアム社に関連する37億ポンドの減少を含む)でした。
- リスク調整後資産は、信用市場に対するエクスポージャーの減少によるプラス効果が規制当局の会計処理方法の変更の影響によって相殺されて、ほぼ横ばいの1,900億ポンド(2010年12月31日:1,910億ポンド)となりました。
- 調整後平均資本利益率は15%(2010年:14%)であり、調整後平均リスク調整資産利益率は、平均リスク調整資産の減少を反映して1.8%(2010年:1.5%)に上昇しました。
- 平均DVaRは顧客活動の低下により4,800万ポンドに減少(2010年:5,700万ポンド)しました。2011年6月30日現在のスポットDVaRは5,000万ポンド(2010年12月31日:4,800万ポンド)に増加しました。

一部のユーロ圏諸国に対するエクスポージャー

欧州銀行監督機構(EBA)は2011年7月15日、欧州の銀行90行を対象として、様々な仮定上の外的ショックが発生した場合の抵抗力を評価した結果を発表しました。パークレイズのEBAの定義によるストレス時コア Tier1 資本(CT1)比率は7.3%とEBAが設定した最低基準5%を大幅に上回り、パークレイズはモデル化されたストレス期間を通して収益性を維持しました。EBAの手法では、パークレイズが保有するブラックロック社株式の資本的価値は認められませんでした。これが認められた場合、パークレイズのストレス時CT1比率は約8%になったと見込まれます。パークレイズは、内部管理目的及び英金融サービス機構(FSA)向けに定期的にストレステストを実施しています。それらの結果は、一貫してパークレイズの資本が規制の定めるすべての要件を上回っていることを示しています。

EBAの発表の一環として、EBAの共通の手法と主な想定に基づく2010年12月31日現在のソブリン及びその他のデフォルト時エクスポージャー(EAD)に関し、詳細な情報が開示されました。以下に、当グループの2011年6月30日現在のスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド及びギリシャのバランスシート上のポジションに関し、より詳細な情報を記載いたします。これらは、EBAの発表に含まれるものと概ね一致していますが、財務報告の目的上、EBAストレステストにおいて2010年12月31日現在でEAD手法が適用されたのとは異なり、2011年6月30日現在の会計上の数値を参照して算出されています。

一部のユーロ圏諸国に対するエクスポージャーには、次の3種類が含まれています。

- **トレーディング及びデリバティブ残高:** 主に、国債ポジションのマーケットメーカーである当グループの投資銀行業務に関連するものです。当グループのエクスポージャーは、顧客の事業活動及び市場で得られる流動性によって異なります。これらのポジションは公正価値で評価されており、その変動は日次ベースで損益として認識されています。
- **国債及びその他の債券への投資:** これらは、主に2年以内に満期が到来するもので、金利ヘッジ目的及び国内銀行業に課される流動性要件を満たすために保有されている投資です。このエクスポージャーは、証券が満期を迎えるにつれ削減され、金利ヘッジ目的で保有されている国債は金利スワップに置き換えられています。当グループはこれらの債券ポジションを注視しており、当グループのリスクに対する見方が変更された場合にはこれらのポジションを債券市場で売却することができます。これらは公正価値で評価されており、公正価値の変動は純資産の増減として認識されます。
- **貸付金(償却原価により評価)¹:** 主に法人向け及び個人向け貸付ポートフォリオを反映しています。
 - － **個人向け貸出ポートフォリオ**は、主に住宅ローンを反映しています。これらのポートフォリオでは、貸付金が担保時価に占める比率は平均して45～65%となっているため、これらの国の住宅セクターが悪化した場合におけるデフォルト発生時の重大な回収リスクは抑制されています。
 - － **法人向け貸出ポートフォリオ**は、主にパークレイズのスペイン、イタリア及びポルトガルにおいて確立された法人向け銀行業務と、地域内の多国籍企業及び大手国内企業を顧客とする投資銀行業務に関連するものです。明確な貸出方針及び与信管理手続を整備し、各国及び各法人顧客の状況に応じて、2011年6月30日現在、適切な損失引当金を計上しています。

上記のソブリン及びその他のエクスポージャーに加え、ソブリンのデフォルトが発生した場合における間接的リスクがあり、例えば、これらの国以外に本拠を置く銀行及びその他の金融機関に損失が発生する可能性があります。当グループは、ソブリン及び国ごとのリスクについて限度額を定めていると同様にカウンターパーティごとにリスク限度額を定め、こうしたカウンターパーティのリスクプロファイルの変化を定期的にモニタリングすることにより、エクスポージャーが適切に管理され、当グループのリスク志向の範囲内にとどまるようにしています。

作成基準

ここに記載した諸国は、スタンダード・アンド・プアーズによる信用格付けが「AA」以下で、当グループのエクスポージャーが5億ポンドを上回るユーロ圏の国々で構成されています。市場で特に注目されているギリシャについても、当グループのエクスポージャーは5億ポンド未満ですが、情報を開示いたします。

ソブリン・エクスポージャーは、中央政府及び地方政府向けエクスポージャーを反映しています²。金融機関及び法人向けエクスポージャーは直接的なカウンターパーティ(外国子会社を含み、クロスボーダー保証とは無関係)が業務を営んでいる国のエクスポージャー、個人向けエクスポージャーは個人顧客の居住国のエクスポージャーです。

当期間中に金融機関の償却原価への分類変更はありませんでした。

¹ 当グループは、リバース・レボ取引及びその他の類似の担保付貸出を行っており、これらは全額担保で保全されています。

² これに加え、当グループは、2011年6月30日現在、これらの諸国の中央銀行で総額6億ポンドの現金を保有しています。それ以外の各国中央銀行における重要な残高は、金融機関向け貸付金に分類されています。

リスク管理

国別のソブリン及びその他のエクスポージャーに関し、より詳細な情報を以下に記載いたします。下表は、国別のバランスシート上の信用リスク・エクスポージャー最大額であり、総額には損失引当金、純額処理及び現金担保(該当する場合)が反映されています。オフバランスのエクスポージャーは、当グループが法人顧客及び個人顧客に提供している信用枠未使用額を反映しており、これは偶発債務及びコミットメントとして以下に開示されています。さらに、当グループは、リスク管理を目的として信用リスクを軽減する契約(主にクレジット・デフォルト・スワップ及びトータル・リターン・スワップ)を締結しており、その参照資産は国債であり、これらの契約にはこれらの諸国向けエクスポージャーを減少させる効果があります。

スペイン

損益を通じた公正価値

2011年6月30日現在	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて公正価値で測定すると指定されたもの	合計
	トレーディング・ポートフォリオ	トレーディング・ポートフォリオ	正味トレーディング・ポートフォリオ	資産総額	負債総額	現金担保	正味デリバティブ		
	資産	負債	ポートフォリオ						
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	2,731	(2,683)	48	89	(89)	-	-	-	48
金融機関	660	(318)	342	6,694	(6,483)	(211)	-	1	343
法人	221	(221)	-	657	(403)	-	254	86	340

株主資本を通じた公正価値

2011年6月30日現在	売却可能資産		
	取得原価	2011年6月30日現在	取得原価
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	4,866	(153)	4,713
金融機関	597	(39)	558
住宅ローン	-	-	-
法人	26	(1)	25
その他個人向け貸付	-	-	-

償却原価により評価

2011年6月30日現在	貸付金		
	総額	減損引当金	合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	39	-	39
金融機関	374	(4)	370
住宅ローン	16,593	(90)	16,503
法人	6,607	(1,326)	5,281
その他個人向け貸付	3,350	(180)	3,170

2011年6月30日現在の当グループのスペインに対するエクスポージャーには次のものが含まれています。

● ソブリン

- 主に国債の形で保有する売却可能資産で、大半が2012年12月までに満期が到来します。
- 減損はなく、1億5,300万ポンドの累積損失が売却可能資産評価差額金に計上されています。

● 金融機関

- 公正価値で9億100万ポンドを保有しています。その大半は、トレーディング活動及びマーケットメイク活動のためにパークレイズ・キャピタルが保有している債券です。
- 5億5,800万ポンドの売却可能資産で、3,900万ポンドの累積損失が売却可能資産評価差額金に計上されています。

● 住宅ローン

- 居住用不動産で全額担保されており、時価ベースの平均LTVは58%です。これはCRL(信用リスク・ローン)のカバレッジ比率の26%に反映されています。
- 90日延滞率は安定しており、年率換算ベースの貸倒損失率は2010年の水準を下回っています。

リスク管理

● 法人

- 不動産及び建設業界向け貸付金は 25 億 1,000 万ポンドであり、おおむね不動産担保付きです。減損引当金は 9 億 6,800 万ポンド。CRL のカバーレージ比率は 47% です。
- パークレイズ・コーポレートの法人顧客に対する 21 億 7,900 万ポンドの貸付金は、減損が 3 億 3,500 万ポンドであり、4 億 400 万ポンドの CRL に対して 83% のカバー率となっています。
- 早期警戒リストの残高は 2010 年後半にピークを打ち、2011 年には安定的に推移しています。ポートフォリオは注意深く検討されており、必要に応じて減損を計上しています。
- スペインの法人の減損は、商業用不動産価格の下落がサイクルの初期段階に反映された 2010 年上半期に最高水準に達しました。その後のいずれの半期においても減損費用は減少しました。
- 多国籍企業及び国内大手企業に対するパークレイズ・キャピタルの 5 億 1,800 万ポンドの貸付金は、引き続き正常債権です。

● その他個人向け貸付

- クレジット・カード及び無担保ローンが 16 億 7,700 万ポンドあります。クレジット・カードと無担保ローンの初期サイクル及び後期サイクルにおける延滞率は安定しており、回収プロセスの改善に伴い、貸倒償却率は低下しました。
- 中小企業向けの 14 億 9,300 万ポンドの貸付金は、おおむね商業用不動産で担保されています。

- 偶発債務及びコミットメントとして、法人顧客向けの 31 億 7,700 万ポンドと、主として中小企業向けの未使用与信枠と未使用クレジット・カード貸付限度額が 15 億 4,700 万ポンドあります。

イタリア

損益を通じた公正価値

2011 年 6 月 30 日現在	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じた公正価値で測定するものと指定されたもの	合計
	トレーディング・ポートフォリオ資産	トレーディング・ポートフォリオ負債	正味トレーディング・ポートフォリオ	資産総額	負債総額	現金担保 ¹	正味デリバティブ		
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	7,726	(5,461)	2,265	804	(271)	(41)	492	-	2,757
金融機関	653	(42)	611	5,733	(5,131)	(540)	62	-	673
法人	223	(125)	98	523	(396)	(115)	12	2	112

株主資本を通じた公正価値

2011 年 6 月 30 日現在	売却可能資産		合計
	取得原価	売却可能資産評価差額筋	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	2,733	(47)	2,686
金融機関	156	(3)	153
住宅ローン	-	-	-
法人	16	1	17
その他個人向け貸付	-	-	-

償却原価で保有

2011 年 6 月 30 日現在	貸付金		合計
	総額	減損引当金	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	-	-	-
金融機関	23	(9)	14
住宅ローン	15,567	(81)	15,486
法人	2,841	(127)	2,714
その他個人向け貸付	2,654	(181)	2,473

¹ 当グループは、イタリアの金融機関に対するデリバティブ・エクスポージャーの担保として 6,200 万ポンドの現金以外の担保も保有していました。

リスク管理

2011年6月30日現在の当グループのイタリアに対するエクスポージャーには次のものが含まれています。

- **ソブリン**
 - ほとんどが国債であり、公正価値で保有しています。
 - 22億6,500万ポンドのトレーディング・ポートフォリオと26億8,600万ポンドの売却可能資産で、4,700万ポンドの累積損失が売却可能資産評価差額金に計上されています。
- **金融機関**
 - 6億1,100万ポンドのトレーディング・ポートフォリオ及び1億5,300万ポンドの売却可能資産を含め、大部分が債券への投資です。トレーディング活動及びマーケットメーク活動のためにパークレイズ・キャピタルが保有しています。
 - エクスポージャーは債券やデリバティブなどを含み、大手国内銀行に主軸を置いています。
- **住宅ローン**
 - 居住用不動産で全額担保されており、時価ベースの平均LTVは46%です。
 - 2011年上半期の貸付残高に対する90日延滞率及び回収率は安定していました。
 - 上記は、23%のCRLカバレッジ率に反映されています。
- **法人**
 - 大手法人顧客を重視しています。また、不動産業界に対するエクスポージャーは極めて限定的です。
 - 早期警戒リストの残高は、2010年12月から概ね変化していません。
 - エクスポージャーの大部分は「Strong」又は「Satisfactory」に分類されています。¹
 - 69%のCRLカバレッジ率には、1億8,400万ポンドのCRL及び1億2,700万ポンドの減損引当金が反映されています。
- **その他個人向け貸付**
 - 17億1,200万ポンドのイタリアの給与前払いローン(返済は適格事業主によって源泉控除され、雇用の終了又は死亡が発生した場合、パークレイズは保険により保障されます)。給与ローンの延滞率及び貸倒償却率の改善には、回収及び請求実績の改善が反映されています。
 - 6億2,800万ポンドのクレジット・カード及びその他の無担保ローンがあります。カード・ポートフォリオの延滞率及び貸倒償却率は改善しています。
- **偶発債務及びコミットメントとして、法人顧客向けの22億8,100万ポンドと、主として未使用クレジット・カード貸付限度額の11億5,500万ポンドがあります。**

ポルトガル

損益を通じた公正価値

2011年6月30日 現在	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じた公正価値 で測定する と指定され たもの 百万ポンド	合計 百万ポンド
	トレー ディング・ ポート フォリオ 資産 百万ポンド	トレー ディング・ ポート フォリオ 負債 百万ポンド	正味 トレー ディング・ ポート フォリオ 百万ポンド	資産総額 百万ポンド	負債総額 百万ポンド	現金担保 百万ポンド	正味 デリバティブ 百万ポンド		
ソブリン	298	(275)	23	378	(249)	-	129	-	152
金融機関	45	(15)	30	451	(386)	(65)	-	-	30
法人	39	(25)	14	166	(70)	-	96	-	110

¹ パークレイズの信用等級基準では、「Strong」に分類された貸付のデフォルト確率(PD)は0~0.6%、「Satisfactory」に分類された貸付のPDは0.6~11.35%です。

リスク管理

株主資本を通じた公正価値 2011年6月30日現在	売却可能資産		合計 百万ポンド
	取得原価 百万ポンド	売却可能資産評価差額筋 百万ポンド	
ソブリン	958	(166)	792
金融機関	3	-	3
住宅ローン	-	-	-
法人	1,042	(9)	1,033
その他個人向け貸付	-	-	-

償却原価で保有 2011年6月30日現在	貸付金		合計 百万ポンド
	総額 百万ポンド	減損引当金 百万ポンド	
ソブリン	26	-	26
金融機関	45	-	45
住宅ローン	3,840	(12)	3,828
法人	2,887	(166)	2,721
その他個人向け貸付	2,360	(217)	2,143

2011年6月30日現在の当グループのポルトガルに対するエクスポージャーには次のものが含まれています。

● ソブリン

- 大部分が売却可能国債で、ほとんどが2012年12月までに満期が到来します。
- 減損はなく、1億6,600万ポンドの累積損失が売却可能資産評価差額金に計上されています。

● 住宅ローン

- 居住用不動産で全額担保されており、時価ベースの平均LTVは63%です。
- CRLのカバレッジ比率は12%です。

● 法人

- 27億2,100万ポンドの貸付金のうち、不動産及び建設業界に対するエクスポージャーは6億5,100万ポンドであり、その一部が不動産担保で保全されています。
- 法人顧客によって90日未満の満期のコマーシャル・ペーパーが10億3,300万ポンド発行されています。これは当座貸越の代わりとして現地で利用される商習慣です。売却可能資産として公正価値で保有されており、減損は識別されていません。
- 貸付エクスポージャーの大部分は「Strong」又は「Satisfactory」に分類されており、大半は2012年12月までに満期が到来します。
- CRLのカバレッジ比率は42%であり、そこには3億9,200万ポンドのCRL及び1億6,600万ポンドの減損引当金が反映されています。

● その他個人向け貸付

- 12億7,700万ポンドのクレジット・カード及び無担保ローンがあります。カード・ポートフォリオの延滞率は引き続き安定しており、個人向け貸付ポートフォリオのうち、貸付年が最近のもののパフォーマンスが安定又は改善しています。
- 中小企業向けに7億5,600万ポンドの貸付金があり、その大半は商業用不動産で担保されています。
- CRLのカバレッジ比率は86%であり、そこにはクレジット・カード及び無担保ローンに対するエクスポージャーの水準が反映されています。

- 偶発債務及びコミットメントとして、法人顧客向けの14億900万ポンドと、主として中小企業向けの未使用与信枠と未使用クレジット・カード貸付限度額が14億9,200万ポンドあります。

リスク管理

アイルランド

損益を通じた公正価値

2011年6月30日現在	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて公正価値で測定すると指定されたもの	合計
	トレーディング・ポートフォリオ資産	トレーディング・ポートフォリオ負債	正味トレーディング・ポートフォリオ	資産総額	負債総額	現金担保	正味デリバティブ		
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	209	(61)	148	300	(130)	(170)	-	-	148
金融機関	1,703	(161)	1,542	3,128	(2,746)	(382)	-	49	1,591
法人	89	(18)	71	252	(89)	-	163	9	243

株主資本を通じた公正価値

2011年6月30日現在	売却可能資産		合計
	取得原価	売却可能資産評価差額筋	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	231	(48)	183
金融機関	280	(27)	253
住宅ローン	-	-	-
法人	13	2	15
その他個人向け貸付	-	-	-

償却原価で保有

2011年6月30日現在	貸付金		合計
	総額	減損引当金	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	-	-	-
金融機関	2,769	(147)	2,622
住宅ローン	96	(9)	87
法人	1,075	(19)	1,056
その他個人向け貸付	300	(4)	296

2011年6月30日現在の当グループのアイルランドへのエクスポージャーには次のものが含まれています。

- **ソブリン**
 - すべての資産が公正価値で保有されています。
 - 1億8,300万ポンドの売却可能資産は、売却可能資産評価差額金に4,800万ポンドの累積損失が計上されています。
- **金融機関**
 - エクスポージャーは投資適格の信用格付けを持つ金融機関に焦点を絞っています。
 - アイルランドの銀行に対するエクスポージャーは2億2,100万ポンドです。
 - アイルランド国籍で、主たる事業とエクスポージャーはアイルランド国外にある発行体に関するトレーディング資産が12億ポンド、貸付金が11億ポンドあります。
- **法人**
 - 10億5,600万ポンドの貸付金があり、その大部分はアイルランド国籍で、主たる事業とエクスポージャーはアイルランド国外にある他の多国籍企業向けです。
 - このポートフォリオは引き続き正常債権であり、不動産業界の低迷による重大な影響は受けていません。
- **その他貸付の3億8,300万ポンドには、住宅を担保とする8,700万ポンドが含まれています。**
- **偶発債務及びコミットメントの15億8,700万ポンドは、法人顧客に対するものです。**

リスク管理

ギリシャ

損益を通じた公正価値

2011年6月30日現在	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて公正価値で測定すると指定されたもの	合計
	トレーディング・ポートフォリオ資産	トレーディング・ポートフォリオ負債	正味トレーディング・ポートフォリオ	資産総額	負債総額	現金担保 ¹	正味デリバティブ		
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	120	(65)	55	3	(3)	-	-	-	55
金融機関	4	-	4	426	(140)	(197)	89	-	93
法人	7	-	7	1	-	-	1	10	18

純資産を通じた公正価値

2011年6月30日現在	売却可能資産		合計
	取得原価	売却可能資産評価差額筋	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	14	-	14
金融機関	-	-	-
住宅ローン	-	-	-
法人	-	-	-
その他個人向け貸付	-	-	-

償却原価で保有

2011年6月30日現在	貸付金		合計
	総額	減損引当金	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	-	-	-
金融機関	-	-	-
住宅ローン	6	-	6
法人	139	-	139
その他個人向け貸付	33	(11)	22

2011年6月30日現在の当グループのギリシャに対するエクスポージャーには次のものが含まれています。

- ソブリン

- 公正価値で保有する資産はすべて、顧客のために保有する主に短期の国債です。
- 1,400万ポンドの売却可能資産は、売却可能資産評価差額金に累積損失を一切計上していません。これらの資産は、顧客の保険商品との関係で保有しているものです
- 2011年7月21日に発表されたギリシャ支援のための民間部門イニシアチブを含め、最近の事象から要求される減損はありません。

- 法人

- 1億3,900万ポンドの貸付は正常債権です。

- その他個人向け貸付

- 個人向け貸付の大半はクレジットカード残高です。

- 偶発債務及びコミットメントは5,000万ポンド未満です。

¹ 当グループはギリシャの金融機関に対するデリバティブ・エクスポージャーの担保として現金以外の担保8,900万ポンドも保有していました。

リスク管理

パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーは主に商業用不動産、レバレッジド・ファイナンス、及び過去のプロティアム社への貸付金の担保に関連しています。これらのエクスポージャーは、2007年半ばの市場混乱より前に発生したものです。これらのエクスポージャーには、公正価値の変動が損益計算書に計上されるポジション、並びに貸付金及び売却可能に分類されるポジションが含まれます。

2011年6月30日までの資産クラス別の残高、公正価値及び減損の増減は、下表の通りです。また、プロティアム社の資産クラス別の分析が原文64ページに開示されています。

信用市場に対するエクスポージャー¹

プロティアム社					2011年6月30日に終了した半期		
	2011年	2010年	2011年	2010年	公正価値	減損	(損失)／
	6月30日	12月31日	6月30日	12月31日	利益／	(繰入)／	(損失)／
	現在	現在	現在	現在	及び資金調	戻入	利益合計
	百万ドル	百万ドル	百万ポンド	百万ポンド	達純額	百万ポンド	百万ポンド
担保資産 ²	5,411	10,884	3,374	7,028	(78)	223	145
米国の住宅モーゲージ							
ABS CDO スーパーシニア	2,949	3,085	1,839	1,992	(22)	(9)	(31)
米国サブプライムとAlt-A	775	1,025	483	662	(4)	37	33
商業用モーゲージ							
商業用不動産ローン及び不動産	10,390	11,006	6,479	7,106	253	-	253
CMBS	96	184	60	119	-	-	-
モノライン保険会社保証付 CMBS	10	18	6	12	33	-	33
その他の信用市場							
レバレッジド・ファイナンス ³	7,019	7,636	4,377	4,930	26	(138)	(112)
SIV、SIV-Lite 及び CDPC	8	618	5	399	(2)	-	(2)
モノライン保険会社保証付 CLO 及びその他	2,000	2,541	1,247	1,641	3	-	3
合計	28,658	36,997	17,870	23,889	209	113	322

2011年6月30日に終了した半期において、信用市場に対するエクスポージャーは60億1,900万ポンド減少して178億7,000万ポンドとなりました(2010年12月31日現在:238億8,900万ポンド)。減少の内訳は、純売却額、返済及びその他の変動によるものが59億4,800万ポンド、主として米ドルの対英ポンド安を反映した為替変動によるものが3億9,300万ポンドでした。この減少は、公正価値の上昇による利益合計と減損の戻入3億2,200万ポンドによって一部相殺されました。

純売却額、一部償還及びその他の変動59億4,800万ポンドには以下が含まれています。

- プロティアム社に関連する34億9,700万ポンド(57億1,000万ドル)。この内訳は、売却額17億3,800万ポンド(28億3,700万ドル)、貸付金及び利息の返済9億5,900万ポンド(15億6,500万ドル)、一部償還及びその他の変動8億ポンド(13億800万ドル)となっています。これらの手取金のうち4億5,900万ポンド(7億5,000万ドル)は、独立した資産運用会社C12が運用するファンドであるハリックスに投資されました。
- 商業用不動産ローンと不動産の売却による8億5,400万ポンド。これには、クレクサス・インベストメント社に対する3億1,800万ポンド(5億2,900万ドル)が含まれています。
- レバレッジド・ローンの減少による5億5,700万ポンド。
- SIV及びSIV-Liteの減少による3億6,600万ポンド。
- プロティアム社売却に加えて米国サブプライム、Alt-A及びCMBSのポジション減少による3億3,900万ポンド。
- モノライン保険会社保証付CLOの価値減少による3億3,500万ポンド。

¹ エクスポージャーの大部分は米ドル建てで保有しているため、上表には米ドル建て及び英ポンド建ての両方で記載しています。

² プロティアム社が当グループの連結対象となった2011年4月27日以前は、このエクスポージャーは貸付金となっていました。この貸付金は、2010年12月31日以降、裏付けとなる担保の公正価値に相当する額が計上されています。

³ 2億4,100万ポンドの未実行与信枠を含みます(2010年12月31日現在:2億6,400万ポンド)。

リスク管理

プロティアム社

2009年9月16日にパークレイズ・キャピタルは、信用市場資産 83 億 8,400 万ドルを含む 122 億 8,500 万ドルの資産を、新設ファンドのプロティアム・ファイナンス LP 社 (Protium Finance LP、以下「プロティアム社」) に売却しました。当取引の一環として、パークレイズは 126 億 4,100 万ドル (期間 10 年) の貸付をプロティアム社に対して実施しました。

2011年4月、パークレイズは、当グループのプロティアム社に対するエクスポージャーを早期に解消するために、プロティアム社に対する第三者持分すべてを取得する複数の契約を締結しました。その結果、プロティアム社は現在当グループの連結対象となり、プロティアム社向け貸付金は、当グループの連結貸借対照表上、裏付け担保資産に置き換えられました。

下表は、貸付実行時以降のプロティアム社の担保資産の変動を示します。

	取得日				取得日			
	2011年	2011年	2010年	2009年	2011年	2011年	2010年	2009年
	6月30日	4月27日	12月31日	9月16日	6月30日	4月27日	12月31日	9月16日
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在
	百万ドル	百万ドル	百万ドル	百万ドル	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
米国サブプライムと Alt-A	2,142	4,406	4,402	4,477	1,335	2,665	2,710	2,716
CMBS	2,400	3,092	3,257	1,897	1,497	1,870	2,103	1,151
モノライン保険会社保証	-	-	225	4,562	-	-	145	2,768
CLO 及びその他の資産	869	1,952	1,636	1,349	542	1,181	1,189	818
担保合計	5,411	9,450	9,520	12,285	3,374	5,716	6,147	7,453
現金及び現金同等物	-	231	1,364	250	-	140	881	152
資産合計	5,411	9,681	10,884	12,535	3,374	5,856	7,028	7,605
プロティアム社に対する貸付金	-	-	10,884	12,641	-	-	7,028	7,669

当取引の一環として、7 億 5,000 万ドルが、C12 が運用する既存のファンドであるハリックスに投資されました。この投資はハリックス・ファンドの 86% に相当し、同ファンドは当グループに連結されています。ハリックス・ファンドの投資は主として国債と政府機関債から構成されているため、ハリックスは信用市場に対するエクスポージャーを表すものではありません。パークレイズの同ファンドへの投資の公正価値は、2011年6月30日現在、7 億 4,900 万ドルです。